

東京農業大学第三高等学校附属中学校

男女共学 | 中高一貫教育校 | 大学併設校

NODAI SANCHU

THE THIRD JUNIOR HIGH SCHOOL, TOKYO UNIVERSITY of AGRICULTURE

N3 STEAM 教育

それは、
未来を生きる
チカラになる。



SCHOOL GUIDE
2027





それは、未来を生きるチカラになる。 知と出会う、N3 STEAM 教育

これからの時代に求められるのは、
正解を知り、自ら問いを深められること。
農大三中・三高では、N3 STEAM 教育をベースに、
究理探新[※]の
「実学教育」「国際教育」「キャリア教育」「人間教育」を
さらに進化させました。
生徒一人ひとりが知と出会う、学びの土台を育てていきます。

「N3 STEAM 教育プログラム」と連携する 大学入試の先を見据えた農大三中・三高教育改革の3本柱

絶え間なく変化するこれからの社会を生き抜くうえで必要な、既存の価値観にと
られない柔軟な対応力は、知識を詰め込むだけでは到底身につけることはでき
ません。農大三中・三高ではその基盤となる、大学入試改革で問われる「学力の
3要素」の育成に向け、「①グローバル教育」「②実学教育」「③学内完結型教育」
の3本柱で教育改革を実施。「N3 STEAM 教育プログラム」と連携させながら
「次世代型学力」を軸とした新たな教育を行っています。

※究理探新は、農大三中・三高の教育コンセプトを伝えるキーマッセージです。
「究理探新」…道理・本質を究めて新しいものを探る





農大三中・三高

N3 STEAM 教育 プログラム

M

Mathematics

数学

- ・フィールドラーニング（数学体験館）
- ・ダイズ栽培実験／養殖体験観察の
データ分析

S

Science

科学

- ・博物館研修 ・ダイズ栽培実験
- ・修学旅行（観察／水産実習）
- ・ヒラメ養殖観察

A

Art

アート

- ・醸造体験／養殖体験の発表
- ・ヒラメの実食
- ・イングリッシュ
ワークショップ
- ・学問研究
etc.

E

Engineering

工学

- ・技術系企業講演会

T

Technology

技術

- ・ダイズ栽培／醸造体験
- ・発表スライド作成
- ・フィールドラーニング
（さきたま古墳）
- ・AI教育講演会
- ・ICT教育

グローバル
教育

知識
技能

農大三中・三高
教育改革の
3本柱

実学教育

学内
完結型教育

大学入試で評価される
学力の
3要素

表現力
判断力
思考力

主体性
多様性
協働性

N3 STEAM Power

農大三中・三高で身につけた 未来を生きるチカラ。

ビジネス市場、技術革新、地球環境。

あらゆるものが驚くべきスピードで変化していく現代社会の中で、
学校やフィールドでの挑戦を通じ、問いを立て、考え、挑戦し続ける。
それが、生徒一人ひとりの「未来を生きるチカラ」を育みます。

自ら学ぶチカラ



自主学習ノートを活用し、自分の弱点を
分析。自ら課題を整理し、計画的に学ぶ
力を身につけています。



農大三中で学ぶうちに、「自力で解き
たい」という意欲が芽生えるように。
周囲の友達からも刺激を受けています。



本に出てきた知らない単語や、「熱した
油はなぜサラサラなのか」など、日常の
疑問もすぐに調べるようにしています。



公式を暗記するだけでなく、原理を探究。
仮説と結果がつながる瞬間の達成感が、
次の学びへの原動力になっています。

深く学ぶチカラ



ダイズ栽培やヒラメの養殖を通じて、調
べたことを自分の言葉で伝える楽しさを
発見。表現する力が身につきました。



生徒と先生との間に壁がないため、わか
らない問題をそのままにせず、積極的に
質問して理解を深めています。



もともと好奇心旺盛ですが、農三での生
活を通して探究心が向上。友達と一緒に
考えることで、理解も深まっています。



農三の授業は話し合いの時間が多いのが
特長。様々な意見を聞くことで、新たな
視点を取り入れることができます。





中学3年 町田 彩羽 さん

2026ユーススカイランニング世界選手権第3位。怪我の経験から、将来はスポーツ選手を支える医師を志す。



中学3年 柴田 悠仁 さん

生徒会長として学校づくりに奔走。先生の意見を募る意見箱の設置など、新たな取り組みにも挑戦中。



高校3年 齋藤 真美 さん

幼い頃から植物が大好き。生物部の活動で植物学への興味を深め、将来は品種改良を行う育種家が目標。



高校3年 江原 健悟 さん

物事の「なぜ」を突き詰める探究派。宇宙から光学まで興味は幅広く、将来は科学の道で活躍を目指す。



未来を選ぶチカラ



医療機関での職業体験で、**医師という目標が明確に**。スカイランニングを続けながら、スポーツドクターを目指します。



職業体験が、将来を真剣に考えるきっかけに。農三の先生に憧れ、いつしか**母校の教員を志す**ようになりました。



生物部で学会発表を経験。研究者との交流を通して植物生物学への興味を深め、**育種家という夢にも自信が持てました**。



好きなテーマを掘り下げる授業でブラックホールを研究。詳しく調べて発表することで、**将来の選択肢が広がりました**。

社会を生き抜くチカラ



友達との会話から、**相手を思いやる大切さを実感**。思ったことはそのままにせず、本音で話せる関係を築いています。



生徒会長として**失敗を恐れず行動し**、「まずはやってみよう」と多様な意見を柔軟に受け入れられるようになりました。



一人で抱え込まず、**友達と支え合う大切さを再確認**。周囲を頼り、困難も経験として前向きに捉える力がつきました。



ToDoリストを作り、「今日やるべきこと」を可視化。試験勉強を通じて、**計画的に行動する習慣が定着**しました。

For Your Future

大学進学その先へ。
6年間で描く、自分の未来。

農大三中・三高の6年間の学びと経験の中で育まれる「未来を生きるチカラ」。
その一つひとつが、自らの進路を選び、未来を描く力へとつながっていきます。



ホームページにて
学校紹介動画を
公開中！



触れて、見て、体験する 実学フィールド 年間行事紹介		基礎力充実期		応用発展期
		中1	中2	中3
目 標		実学的考え方のベースを創る		能動的にキャリアを選択する
目 的		● 自己を見つめる ● 社会と自己の関係について考える ● 仕事を知り、生きることの意義を考える		● 大学を知る ● 適切な進路選択をする
概 要		文章を書いたり、自分が住む地域を調べたりしながら、自分自身や自分と社会の関係について考えます。また、職業調べ、職業体験などを通して、仕事や生き方について考えます。		自己理解や職業知識をベースにイメージします。
クラス編成		習熟度別授業(英語・数学)		
学力	実学教育	・醸造体験 ・博物館研修(国立科学博物館・国立西洋美術館見学) ・フィールドラーニング	・養殖体験 ・博物館研修(江戸東京博物館・東京国立博物館見学) ・フィールドラーニング	・体験型修学旅行(北海道/自然観察・農業・水産業体験) ・フィールドラーニング
	国際教育	・英語検定 ・イングリッシュワークショップ(留学生との交流会) ・百人一首大会 ・華道体験	・英語検定 ・グローバルイングリッシュキャンプ	・英語検定 ・ニュージーランド 語学研修 ・デザインプレゼンテーション
進路選択力	キャリア教育	・自己理解 ・技術系企業講演会 ・AI教育講演会	・職業体験 ・進路講演 ・技術系企業講演会 ・AI教育講演会	・学部、学科研究 ・進路講演 ・模擬ゼミ体験 ・技術系企業講演会 ・AI教育講演会
人間力	人間教育	・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール	・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール	・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・スリーデーマーチ ・校内マラソン大会 ・合唱コンクール



		進路実現期
高1	高2	高3
		大学進学を実現する
		● 社会貢献意識を高める ● 将来へのモチベーションを高める
大学について調べ、これからの進路を実現させる方法を具体的に		大学入試に向けて環境を整え、モチベーションを高めます。 さらに、興味のある大学のオープンキャンパスなどを通して、大学進学後を意識します。

習熟度別クラス		習熟度別クラス 理系(高2から)	習熟度別クラス 文系(高2から)
・フィールドラーニング ①教科主催・セルフ ②コンテスト・コンペ系 ・サマーセミナー	・フィールドラーニング ①教科主催・セルフ ②コンテスト・コンペ系 ③フィールドラーニング特化プログラム	・フィールドラーニング ①教科主催・セルフ ②コンテスト・コンペ系	
・英語検定 ・オーストラリア&ニュージーランド1年間・ターム留学 ・アクティブコミュニケーション研修 ・グローバルスタディツアー ・海の生態系スタディツアー ・ブルネイ教育研修 ・華語講座	・英語検定 ・英語スピーチコンテスト ・修学旅行(オーストラリア) ・オーストラリア&ニュージーランド1年間・ターム留学 ・アクティブコミュニケーション研修 ・グローバルスタディツアー ・海の生態系スタディツアー ・ブルネイ教育研修 ・華語講座	・英語検定 ・華語講座	
・文理選択(新書レポート) ・進路講演 ・興味探究学習(グループ発表) ・学問研究(個人発表) ・学部、学科説明会 ・オープンキャンパス	・興味探究学習(個人発表) ・進路研究 ・進路講演 ・オープンキャンパス	・進路報告会 ・進路講演 ・オープンキャンパス	
・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・球技大会 ・校内マラソン大会	・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・球技大会 ・校内マラソン大会	・芸術鑑賞 ・浪漫祭 ・体育祭 ・校内マラソン大会	

進学実績

志望大学への
現役合格

現役進路決定率

94.5%

4年制大学進学率

94.5%

中高一貫教育の集大成！

農大三中・三高の1期から12期の先輩たちが大学入試に臨み、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとする多くの最難関国立・私立大学への現役合格を果たしています。

農大三中・三高では、併設大学である東京農業大学・東京情報大学への「学校推薦型選抜」があり、この制度を利用して進学する生徒も少なくありません。農大・情報大を目指す人にはうれしい制度です。

第1～12期生の主な進学先

国立大学

東京大学

北海道大学

群馬大学(医学部)

筑波大学(医学部)

防衛医科大学校

東京医科歯科大学

お茶の水女子大学

東北大学

東京工業大学

東京農工大学

東京学芸大学

埼玉大学

宇都宮大学

茨城大学

千葉大学

横浜国立大学

浜松医科大学

東京都立大学

富山大学

私立大学

早稲田大学

慶應義塾大学

上智大学

東京理科大学

東京農業大学

明治大学

青山学院大学

立教大学

中央大学

法政大学

昭和大学(医学部)

国際基督教大学

学習院大学

昭和薬科大学

東京薬科大学

東京女子医科大学(医学部)

NODAI SANCHU | 6

6 Years of Learning

| 6年間の学び① | 基礎力充実期 |

中学1▶2年生

実学的考え方のベースを創る

学習への興味を広げながら、基礎学力を定着させ、数国は中学での学習内容をほぼ終えます。
同時に、自己を見つめコミュニケーションの土台を形成し、社会と自己の関係を理解します。

解ける喜びが実感できる

自分にぴったりの進度で



考える力を育む

生徒の一番の味方として

「なぜ」の先に成長がある

クラスの雰囲気は温かく、先生方にも何でも相談できる環境です。英語と数学は習熟度別にクラスが分かれていて、自分のペースで学習できています。苦手だった数学も、わかりやすい指導のおかげで、問題が解ける楽しさを知ることができました。外部講師による講演など勉強以外の学びも多く、農大三中・三高ならではの出会いを通じて、日々成長を感じています。

中学2年 矢部 恵百 さん

提出物などの基本的な積み重ねを大切にしながら、「なぜやるのか」を考えさせる指導を心がけています。座学だけでなく、実際に触れ、体験する機会を重視し、自ら探究する力が身につくよう支援しています。できなかったことに挑戦し、成長していく生徒の姿に、日々やりがいを感じています。時に厳しく、常に一番の味方として、未来につながる力を育てています。

金澤 朋花 教諭

少人数・習熟度別授業で わからない生徒をつくらない

苦手が分かればやすい英数は、中1から少人数・習熟度別授業を導入しています。「サポートテスト」で定着度を確認し、弱点を徹底補強。個々の理解度に合わせたきめ細かな指導で、「わからない」をそのままにしない。農大三中・三高は、生徒一人ひとりに寄り添い、本物の学力を着実に育みます。

教員、保護者と連携して自宅学習までをトータルサポート (自立学習支援システムEdOM)

独自の学習支援システム「EdOM」は、放課後の校内自習や講習に加え、帰宅後もZoomで質問対応を行う手厚い体制です。定期的な面談で保護者とも情報を共有し、学校・家庭・EdOMが三位一体となって伴走。生徒の目標実現に向け、学習の「機会」と「動機」を創出し、自宅学習までトータルに支えます。



6 Years of Learning

| 6年間の学び② | 応用発展期 |

中学3 ▶ 高校2年生

能動的にキャリアを選択する

中学の学習内容の定着を図りながら、ほぼ全教科の高校の学習内容を高校2年までに終えます。
高校の文理選択後は、自己理解や職業知識をベースに大学を意識した進路実現を考えます。

実学で得た興味を糧に
将来を見据えて学びを深める



時間をかけて支える進路実現
誰かに言われた道ではなく
自分らしい選択を

豆腐屋の母から「大豆の収穫量が減り、質も変化している」と聞いたことをきっかけに植物研究に興味を持ち、農大三中・三高の実学教育を通じてその関心がさらに強くなりました。目標は、農大で品種改良を学ぶこと。まずは基礎固めを大切に、先生のアドバイスを受けながら苦手教科にも励んでいます。進んで学習するクラスの雰囲気刺激を受け、勉強への意欲も高まっています。

中学3年 一関 翔月 さん

中高一貫校の利点を活かし、先取り学習や学部研究を通じて長いスパンで進路実現を図っています。理論と実践を同時に学ぶことで興味の幅を広げ、将来について深く考えられるのも本校の特長です。誰かに決められた進路ではなく、生徒たち自身が歩む道を選択してほしい。その思いを胸に、時には“農三OB”として相談に乗りながら、生徒たちの成長を全力で支えています。

二宮 宗一 教諭

ICTによる効率的な授業と 先取り型の濃密カリキュラム

中2までに中学内容をほぼ終える独自の先取りカリキュラムを編成。主要3教科は公立の約1.5倍の時間を確保し、ICT活用で演習の質を高めています。単なる詰め込みではなく、生徒の理解度を瞬時に把握する授業を展開。板書時間を節約し演習に充てることで、理解度に合った質の高い授業を実現しています。

実学教育に基づく英語教育で 大学入学後も使える英語力を

実社会で「使える英語」を養う6年間の教育。高2のオーストラリア修学旅行では全員がファームステイを体験し、生きた英語を肌で学びます。帰国後もスピーチコンテストやネイティブによる徹底指導、英検等の外部検定対策を実施。4技能をバランスよく磨き、世界で通用する高度なコミュニケーション能力を鍛えます。

自立した学習により自己の 限界突破を目指すサマーセミナー

サマーセミナーは高校1年生の参加希望者から選抜された生徒が参加し、難関大学レベルの講習や自学自習を通して学力を高めるとともに、自分の学習を見つめ直すきっかけとします。学習意欲を十分に高めて、コースを超えて集まった仲間と切磋琢磨し合い、自己の限界突破を目指します。

6 Years of Learning

| 6年間の学び③ | 進路実現期 |

▶ 高校3年生

大学進学を実現する

担任教員と進路指導部の情報連携で、中学生のときから生徒一人ひとりをきめ細かくサポート。
大学入試問題演習を早期より展開し、知識と思考力に磨きをかけ、目標大学への現役合格を目指します。

「やりたいこと」を形にする

物事の道筋を深く考える



一人ひとりの可能性

会話を通して引き出す

後悔のない進路選択に向けて

先生の助言によって「本当にやりたいこと」を考え、学内で国際交流イベントを行うなど自ら行動できるようになりました。挑戦を尊重してくれる手厚いサポートの中、自己分析を重ねることで、物事の道筋を深く考える習慣も身についたと感じています。6年間かけてじっくりと磨いた「考えるプロセス」は、今後どのような道に進んでも必ず役に立つと信じています。

高校3年 松田 真果 さん

進路実現に向け、何より大切にしているのは会話です。一人ひとりと向き合うことで、本人が気づいていない良さや可能性を引き出したい。生徒を深く知ることによって、それぞれに合ったサポートができるとも感じています。一生に一度の中学・高校生活。卒業時に生徒たちが「やりきった」と胸を張れるよう、また私自身も後悔のないように、最後まで寄り添い続けます。

狩野 哲延 教諭

多種多様な課外講座(無料)で希望進路の実現を全力サポート

6年間を通じ、無料の課外講座を豊富に用意。特に高校3年次は、放課後や長期休暇の講習に加え、小論文指導や12月の入試直前講習など、合格に直結する実践的なメニューを強化。一人ひとりの目標に合わせた手厚い体制で、第一志望校への現役合格という「進路実現」を強力にバックアップします。

高大連携によるキャリア教育でミスマッチのない進路を実現

高大連携のキャリア教育を高校3年間継続。併設大学の教授陣による「STEAM教育講座」や各大学の学部説明会を通じ、学びの内容を深掘りします。模擬授業体験などで将来のイメージを具体化させ、自身の適性を見極め、第一志望校合格に向けた高い意欲と、ミスマッチのない理想の進路実現へと導きます。

大学合格後へのリアルな想いを入試を勝ち抜く大きな力に

厳しい入試を勝ち抜くには「この大学で学びたい」という強い意志が不可欠です。高校3年の夏前には、合格者が語る「進路報告会」や30校超が参加する「進路ガイダンス」を開催。具体的なビジョンを描くことで、入試を最後まで走り抜く確かな学習意欲と、高いモチベーションを維持します。

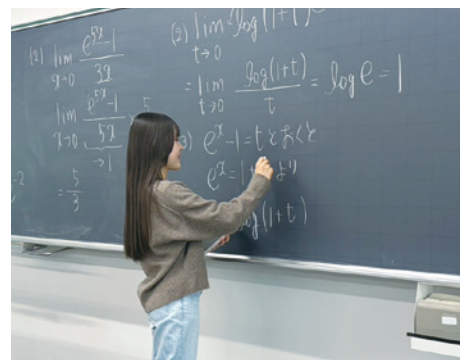


また農大三中を受験したい

生まれ変わったも

かけがえのない6年間

実家の整備工場を継ぐため、機械系の学科に進むつもりでいましたが、農大三中で過ごすうちに「電気自動車の普及に貢献して、環境を守りたい」という新たな夢が芽生え、電気分野を学ぶことを決意。中3の三者面談で芝浦工業大学を勧められ、総合型選抜での合格を目指して毎日机に向かい続けました。どんな時でも味方でいてくれる先生方に支えられ、部活動に励み、友達と笑い合った日々。大好きな農三で過ごした時間は、一生の宝物です。



芝浦工業大学 工学部

電気電子工学課程

電気・ロボット工学コース

今泉 那月 さん (2026年卒)

中学・高校時代に所属していた吹奏楽部ではクラリネットを担当。大学では学生同士の対話を大切にする研究室で、ロボットや電気回路を勉強中。

Voices of Alumni

| 卒業生の声 | 大学生 |

高1の後半には志望校を決め、早めに受験準備をスタート。最後まで第一志望は変わりませんでしたが、先生のアドバイスでより高い目標を掲げて勉強を続けたことで、余裕を持って“本当に行きたい学校”に進学することができました。大学でもプレゼンの機会が多く、農三で培った「どう伝えればいいか」を工夫する経験が生まれています。部活動や行事で感じた、みんなで協力することの楽しさを原動力に、将来は街づくりに携わりたいと思っています。

宇都宮大学 地域デザイン科学部

社会基盤デザイン学科

中山 関之祐 さん (2026年卒)

高校時代はバドミントン部に所属。モットーは、前もって計画を立て、ゆとりある生活を送ること。オーストラリアへの修学旅行(高2)が一番の思い出。



納得できる未来への道

余裕を持って選んだ

「本当に行きたい」を大切に

Voices of Alumni

| 卒業生の声 | 社会人 |

植物と向き合い続ける

実学主義で培った学びを礎に

緑を増やし、人の心を豊かに

自分の目で見て、触れて、学ぶ力 農三で育んだ「実学主義」が今の基盤

ビルやマンションなどの緑化に使う植物を、農家から造園会社に卸す仕事をしています。大切にしているのは、農三で培った「自分で見て、触れて、学ぶ姿勢」。卸売業をしていると、お客様に目を向けるあまり、植物の特性や生産者への理解をおろそかにしてしまうことがあります。しかし、そんな時こそ実学主義へ立ち返り、自ら生産農家に足を運ぶことを心がけています。

携わった植物が人々の癒やしに 地元の裏山に芝桜の公園を作りたい

大学時代に、施設の窓から見える緑が人の心を豊かにすることを実感し、現在の道へ。自分が携わった植物が街の一部となり、誰かを癒している様子を見ると「またひとつ、緑を増やすことができた」とやりがいを感じます。将来の夢は家業の生産農家を継ぎ、地元の裏山に芝桜公園を作ること。これからも目標に向かって現場で多くのことを学び、成長し続けたいと思っています。



太平洋マテリアル株式会社 グリーンアンドアクア営業部
中村 将健 さん (2020年卒)

ニュージーランドでの語学研修(中3)が、自身の視野を広げるきっかけに。現在は緑化産業の未来を支えるため、農家と都市を繋ぐ架け橋として奮闘中。
(東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科/卒業)



今の自分を形づくっている

農三ならではの経験が

心から信頼する先生の言葉

キャリアの原点は

自ら動いて環境を変える 部活動で学んだ人としての姿勢

高校時代は、女子バスケットボール部に所属。当初は週3程度の活動でしたが、部長を中心とした生徒たちの提案により途中から活動日数が増え、より充実した日々を過ごしました。厳しい練習環境の中で「目配り・気配り・思いやり・感謝」を学び、その姿勢は今でも大切にしています。また、自分たちの行動によって環境が変わった経験を通し、自ら動くことの大切さにも気づくことができました。

食を通じて人を笑顔に 出会いと経験の中で見つけた夢

農大への進学を考えていましたが、6年間担任を務めてくださった先生の「外の世界も見た方がいい」という言葉をきっかけに、国立大学へ進学しました。研究室で食品への知識を深め、現在は食品会社で品質管理を担当しています。入社から間もなく、まだ研修段階ですが、食を通じてみんなを笑顔にしたい。その思いを大切に、責任ある業務に向き合っていきたいと思います。

東洋水産株式会社 品質管理
福田 心さん (2022年卒)

北海道修学旅行(中3)で新巻鮭を捌いた経験から食への関心を深め、現在は食品業界で品質管理を担当。目標は、食を通して人を幸せにすること。
(宇都宮大学 農学部 応用生命化学科/卒業)



農大三中・
三高教育の特色

01
....



実学教育

学びの礎となる「自ら学ぶ力」
を育む、農大三中・三高の
アクティブラーニング

実学教育は、学びを深め成長に導く「自ら学ぶ力」
を育むための、農大三中・三高ならではのアクティ
ブラーニングです。フィールドラーニング・醸造・
養殖といった、五感を使った体験型学習の機会を
数多く取り入れています。また、学ぶテーマや授
業スタイルに合わせ、電子黒板やタブレット端末
などのICT教材を積極的に活用します。学ぶこと
への関心・意欲を高め、柔軟な思考力と実践力を
育てています。



STAM
Science Technology Arts Mathematics

ダイズ栽培／醸造体験

理科実験の基本姿勢が身につく
ダイズ栽培から始める
味噌づくり体験

中学1年次の「ダイズ栽培」
では、虫やカラスに食べられ
ないようにする方法を考え、
工夫する力が身につきました。
放課後にも班で観察を続
け、結果を発表する際には相
手にわかりやすく伝えること
を意識しました。農大での
「味噌づくり」では、ダイズ
と塩を混ぜて発酵させる体



中学3年 河田 怜子 さん

験が印象に残っています。自分たちで作った味噌を家族に
「美味しい」と言ってもらえたことが嬉しく、今では料理の
手伝いもするようになりました。



ヒラメを自ら育てる養殖体験を通じて 「命」や「食」の意味について深く考える

中学2年次の「ヒラメ養殖体験」は、入学前から楽しみにしていました。実際にヒラメを世話し、成長を間近で見ることで、教科書以上に学びが深まったと感じています。餌の食べ方から魚の性格を知る面白さがある一方で、毎日欠かさず環境整備を行う大変さも知りました。スーパーマーケットで魚を買うだけではわからない、命の重みを実感しました。



中学3年 及川 竜太郎 さん



グローバル社会での活躍に欠かせない 論理的な思考力と表現力を鍛える

農大三中・三高ならではの実学教育では、事前学習で仕組みを理解してから実践に臨むため、学びの楽しさが倍増します。また、自ら考えた内容をプレゼンする機会も多く、人前で話すことにも自然と慣れていきました。当初は少数人数でも緊張するほど発表が苦手でしたが、自分なりにスライド構成を考え、回数を重ねることで克服。今では生物部の外部発表も楽しめるほど、自信ができました。



高校2年 河西 紗奈 さん

農大三中の実学教育の集大成は 学びと感動に満ちた体験型修学旅行

中学3年次の北海道修学旅行では「新巻鮭づくり」など、普段はできない体験を通して命の大切さを実感しました。特に、収穫したばかりのトウモロコシをその場で味わった時の感動は忘れられません。今では食事をする際に「少し前まで生きていた命」と意識し、感謝するようになりました。またアイヌ文化にも触れ、独自の歴史や魅力にも関心が広がっています。



高校1年 水沼 心花 さん





国際教育

「高い英語力」と「考える力」
を使いこなせる、
骨太な国際人を目指して

多くの日本人が世界で活躍し、自己実現の場が国境を越えて広がる中、国際社会で求められるのは、英語を使いこなす高度なコミュニケーション能力です。農大三中・三高では、自分の国の伝統や文化を理解し、グローバルな視野を育てる多文化交流体験に加え、英語劇やプレゼンテーションといった実践の機会を数多く設けています。英語による表現力を磨き、自信を深めます。



A Arts

日本文化理解／ 異文化理解〈中1〉

日本を知り、世界を知る
グローバルな視野を育む
2つの視点

百人一首大会では、上の句や下の句を覚えることに苦戦しましたが、札が取れた瞬間はとても嬉しく、その面白さを体感しました。もともと英会話に苦手意識がありましたが、イングリッシュワークショップでの留学生との交流を通じて「もっといろいろな人と話してみたい」と前向



中学3年 小島 満菜花 さん

きになり、自ら積極的に話しかけられるように。普段からネイティブの先生と関わることで、英語の聞き取りや読み書きの面でも成長を感じています。



A グローバルイングリッシュ Arts キャンプ〈中2〉

語学研修による多文化交流で 世界基準のコミュニケーションを実践

中学2年次に行われた3日間の宿泊型語学研修では、多国籍の方々と英語で生活を共にしました。正直、はじめは上手に話せるか不安で、「怖い」と思っていたのですが、交流するうちにその気持ちに変化していきました。英語が聞き取れずに戸惑うこともありましたが、グローバルキャンプを経験して、英語がわからなくても「できるだけ相手に伝えよう」と努力するようになりました。



中学3年 榎本 侑眞 さん



A 海外語学研修 Arts 〈希望者対象：中3～高2〉

長期留学と同じ環境を体験する 語学研修スタディツアー

高校1年次に、オーストラリアで2週間の短期研修に参加しました。現地校の授業やスクールバディとの生活を通し、伝えたいことが伝わらないもどかしさを痛感。それでも、共通の話題で盛り上がった時には自然と笑顔になり、もともと抱いていた言葉への不安もなくなりました。今では「将来は海外で暮らしたい」という夢もでき、ますます英語学習に力を入れています。



高校3年 宮田 稜 さん

TA 使える英語を目指す教育／ Technology Arts 受信と発信

発表を通じて英語による表現力を高め 「話す」から「伝わる」英語へ

農大三中・三高は英語で発表する機会が多く、はじめは文章を考えるのが大変でした。なかでも英語劇はセリフを覚えるのに苦労しましたが、友だちと一緒に練習したり、発音を確認し合ったりした時間はとても楽しく、忘れられない思い出になりました。普段の授業でリスニング力も鍛えられ、言葉が完璧でなくても「相手に届けよう」と積極的に発信する姿勢が身につきました。



高校2年 栗原 真里奈 さん





キャリア教育

可能性を広げ、自ら考え、選
ぶ力を養う、実践を重視した
キャリア教育

興味を持った大学や職業など自分の将来について
考え、その実現方法について、自ら調べ、さらに
関心を高め、深く理解します。農大三中・三高では、
生徒が主体的・能動的に進路選択ができるよう、
キャリア教育にも実学教育を取り入れています。
また、技術系企業講演会や進路講演・職業体験など、
多彩なプログラムを通じて「働く自分」について
考えていきます。



TA

Technology Arts

キャリアデザインプログラム／

職業体験〈中1・中2〉

社会を知り、自分を見つめる職業体験
将来への指針と
意欲を培う

中学2年次、小学生の頃から
興味があった医療機関に3日
間の職業体験へ。現場で患者
さんに寄り添い、最善を尽く
す方々の姿に触れたことが、
「自分にできることは何か」
を深く考えるきっかけにな
りました。また、自分の役割
を果たすことの大切さにも
気づき、学校生活でも責任を



中学3年 田中 絢人 さん

持って行動しようという意識が高まりました。現在は中央
委員長兼生徒会長補佐として、学校をより良くするために
全力で取り組んでいます。



TA

Technology Arts

キャリアデザインプログラム/ 模擬ゼミ〈中3・高1・高2〉

模擬ゼミで広がる学問への好奇心 大学での学びを、自分事として考える

東大での模擬ゼミや講義に参加し、生物や農業について専門的な話を聞いたことで、理系分野への関心が大きく広がりました。それまで大学での学びを具体的にイメージできていませんでしたが、将来のために「今何を学ぶべきか」を自ら考えるように。現在は英単語を毎日20個覚えるなど、未来を見据えながら日々の積み重ねを大切にしています。



高校1年 田口 大渡 さん



TA

Technology Arts

キャリアデザインプログラム/ 探究の発表〈高1・高2〉

物事を掘り下げる探究心を養い 理想の進路を切り拓く力にする

苦手意識のあったプレゼンも、台本に頼らず自分の言葉で伝えることで、楽しいと思えるようになりました。同時に、物事を追求して自分の引き出しを広げる「探究の力」が身についたと感じています。キャリア教育においても、本当に自分が進みたい分野を見極め、学部・学科を絞り込むことができました。今は夢の実現に向け、積極的にオープンキャンパスへ足を運んでいます。



高校2年 菊谷 藍 さん

STEAM

Science Technology Engineering Arts Mathematics

キャリアデザインプログラム/ 集大成〈高3〉

職業を深く研究するプロセスで 将来の自分をより鮮明に描き出す

進路研究で獣医師の仕事調べの中で、楽しいだけではない現実も知り、「自分がどんな獣医師になりたいのか」という将来像が明確になりました。中学からの探究活動を経て、漠然とした憧れが、「夢を叶えるために今何が必要か」を逆算して考える姿勢へと変化。農大三中・三高での経験すべてが今の私を形づくり、大学進学とその先の未来へとつながっています。



高校3年 森 梨湖 さん





人間教育

世界を視野に多様な社会を生
き抜く、豊かな感性と逞しい
人間力を

「なれる未来」ではなく「なりたい未来」をつか
むには、その地図となる10年、20年先の明確な
ビジョンを描く「創造力」、それを実現する力強
い「人間力」が必要です。農大三中・三高では、
学校行事をはじめ、芸術鑑賞やクラブ活動による
情操教育や実践ワークを通じて、国際人にふさわ
しい品格、他者を理解・尊重し協働できる力を養
い、多様な社会を生き抜く人材を育成します。



グループ

コミュニケーション

他者への配慮や思いやりを育成する グループコミュニケーション型の ホームルーム活動

クラスでのグループコミュ
ニケーションを通じて、相手
の意見を聞き、それを踏まえ
て自分の考えを伝える姿勢
を学びました。最初は自分に
自信がなく、周囲の話を聞く
だけになることもありまし
たが、話し合いや発表の経験
を重ねるうちに、自分の意見
も発言できるようになりま



高校1年 福永 隼輝 さん

した。その学びは演劇部での活動にも生かされており、高
校生と中学生が協力して一つの作品を作り上げる中で、チー
ムワークの大切さを実感しています。



TA

Technology Arts

情操教育／クラブ活動

十代のみずみずしい感性と創造力を磨き 仲間と切磋琢磨しながら自己を研鑽する

農大三中・三高では古典芸能や演劇など芸術鑑賞の機会も多く、昨年鑑賞した『ライオンキング』は特に印象に残っています。クラブ活動ではチームメイトと意見が食い違うこともありましたが、一緒に活動が続ける中で、相手の考えを理解しながら協力できるようになりました。今では「自ら動けば自分が成長できる」と思うようになり、毎日を前向きに過ごしています。



中学3年 井上 蒼空 さん



A

Arts

学校行事

実学教育で培った自ら学び考える力で 全生徒が一致団結して目標に取り組む

合唱コンクールや体育祭では、クラス一丸となって取り組む楽しさを知りました。感染症の流行で全員そろって練習できない時期もありましたが、できる限り放課後練習に励み、本番当日も声を掛け合いながら挑戦。行事を通して自然とクラスの壁もなくなり、仲間と協力する意識が高まりました。現在は先輩や後輩との関わりの中でも、周囲を見て行動することを大切にしています。



中学3年 岩崎 由舞 さん



STAM

Science Technology Arts Mathematics

食育

生きる基本である「食」から学ぶ 命を育てる真摯な姿勢と感謝の心

農大三中では、栄養バランスのとれたスクールランチをクラスで食べることができます。実学教育の「ダイズ栽培」では、日々の世話を重ねた先に味噌ができていく達成感を体験。「ヒラメの養殖体験」では生き物を育てる難しさを知り、「命をいただくこと」に向き合いました。食べ物ができるまでの過程を思い浮かべることで、今まで以上に感謝して食事をしています。



中学3年 吉田 光希 さん



New Topics

農大三中・三高の新しい取り組み

01 Topics

中高連携プログラム

中高一貫の学びで可能性を広げる

中学校と高校の学びをつなぐ「中高連携プログラム」を実践し、生徒一人ひとりの成長を支援します。6年間を通じて「安心して学べる」「挑戦できる」「未来を描ける」環境を整え、確かな学びの基盤を築くことで、生徒の可能性を広げます。

高校の学びを先取りし、新たな挑戦へ

●高校の授業体験

授業見学や授業参加で、早期から高校の学びをイメージし、レベルアップを目指します。

●探究学習・フィールドラーニング

高校生とともにプロジェクトに取り組み、実社会につながる学びを経験。先輩の探究発表を見学し、思考力・表現力を養います。

先輩とともに学び、学校生活をより楽しく！

●高校生による学習サポート

高校生が特別授業を担当し、習熟度別クラスではアドバイザーとして中学生を支援。

●部活動・学校行事での交流

高校生が技術指導する部活動や、百人一首大会・華道体験などの行事を通じ、学年を超えたつながりを深めます。

これらのプログラムにより、高校の学びを先取りしながら先輩との交流を通じて意欲を高め、充実した学校生活を送ることができます。



02 Topics

農大day (中大連携プログラム)

大学の魅力を体感！実学を深める「農大day」

東京農業大学の併設校であるメリットを活かし、全校生徒が大学のキャンパスを訪れる「農大day」を実施しました。1年生は世田谷キャンパスで伝統の味噌づくりに挑戦。2年生は最新施設「サイエンスポート」で環境科学のフィールドラーニングを行い、3年生は広大な厚木キャンパスで研究の最前線に触れました。9月には修学旅行でオホーツクキャンパスも訪れます。教科書だけでは学べない、大学ならではの奥深い農学の世界や充実した施設を見学することで、将来の学びに対する興味がさらに広がる貴重な機会となりました。農大三中・三高では、これからも「本物」に触れる実学教育を大切にしていきます。



03
Topics

AI教育講演会

中大連携で育む、AIを使い未来を拓くチカラ

本校では、AI時代を生きる力を育むことを目的に、全学年を対象とした「AI教育講演会」を実施。講演会では、急速に発展するAIの現状や未来について学ぶとともに、社会の変化や情報セキュリティ、生成AIなどについて理解を深めます。生徒一人ひとりがAIを正しく活用し、主体的に学ぶ力を身につけることで、「AIに強い中学生」の育成を目指しています。

講演テーマ（予定）

- 第1回「AIで変わる社会」東京情報大学 久保谷政義先生
- 第2回「情報セキュリティとAI」東京情報大学 早稲田篤志先生
- 第3回「人の言語で対話できるAI」東京情報大学 加藤恒昭先生

中大連携の強みを活かし、最先端の学びに早い段階から触れることで、生徒たちの探究心と未来への視野を広げていきます。

04
Topicsプレゼンテーションエリア「Core Lab」
コア ラボ

プレゼンテーションエリアとして「Core Lab」(コアラボ) を新設

多目的教室をリニューアルし、新たに「CoreLab」(コアラボ) をオープン。ここでは、授業や行事で得た学びをスライドにまとめ、グループや個人で発表することで、理解を深めるとともに、表現力や発信力を養います。各行事の締めくくりとして成果を共有し、仲間と学びを深め、成長できる環境を整えました。

過去の発表テーマ

- 1年次 ・ダイズ栽培 ・自分史 ・フィールドラーニング ・自分の好きなもの（英語）
- 2年次 ・ヒラメの養殖 ・フィールドラーニング ・英語劇
- 3年次 ・修学旅行 ・海外語学研修 ・学問研究 ・フィールドラーニング ・SDGs（英語）



Club Activities



クラブ紹介を
もっと見る

向上心を持ち仲間とともに挑む、
活気あふれる姿がここにあります。

クラブ活動は生徒が主体。自ら考え行動し、仲間と高め合うプロセスは「実学」そのものです。
高みを目指し、知恵と技を結集した先に、多くの喜びを共有しています。

運動部

野球部
サッカー部
オリエンテーリング部
陸上競技部
バドミントン部
柔道部
—

Message | 野球部

野球は日常の取り組みがダイレクトに結果に表れます。この点を常に意識し、日々の学校生活を大切に過ごしています。また、仲間を思いやる気持ちを大切に、“試合で勝つ”という目標に向かい、全力で練習に励んでいます。



文化部

吹奏楽部
百人一首部
美術部
華道部
科学部
演劇部
—

Message | 吹奏楽部

定期演奏会や入学式・卒業式、学校行事などに向けて、明るい雰囲気の中で練習に励んでいます。仲間と一緒に曲を作り上げることで協調性を学びながら、初心者も経験者も、楽しく演奏できるクラブを目指しています。



Facility



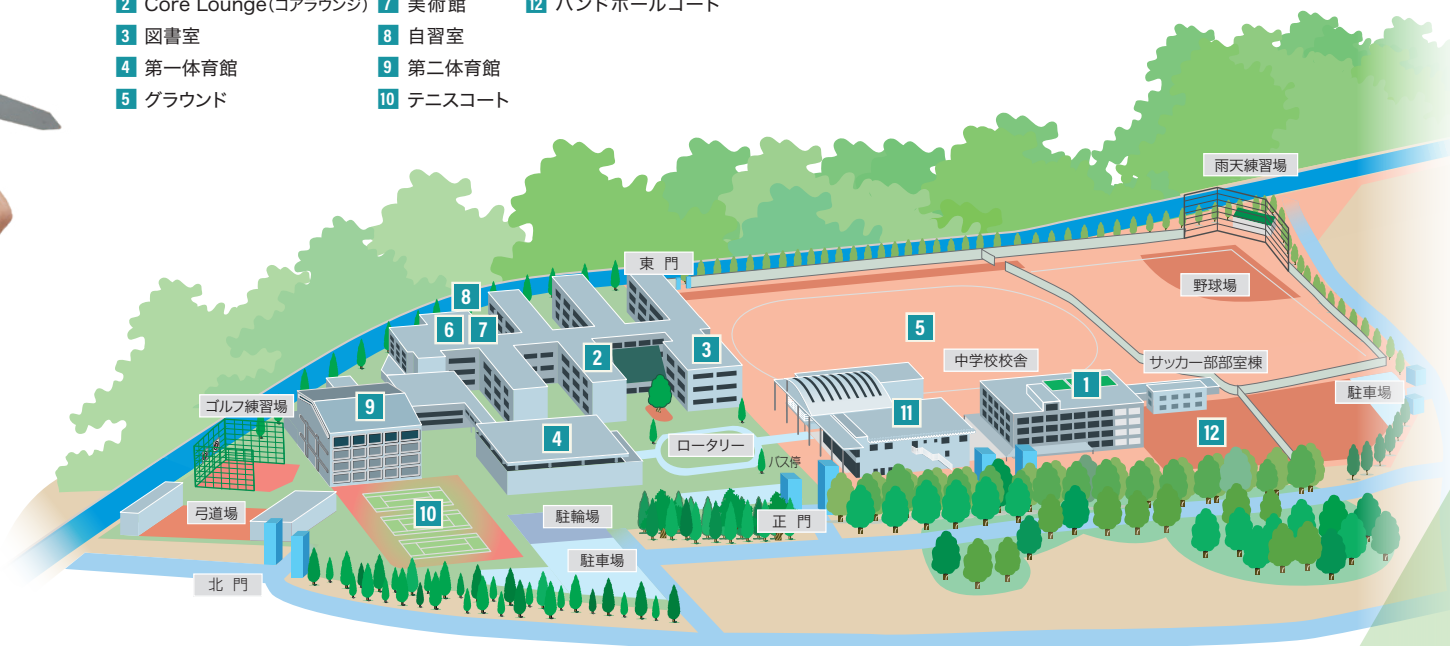
施設紹介を
もっと見る

自然を全身で感じられる広大なキャンパスで、
のびのびと成長できる6年間。

四方を豊かな緑に囲まれた東松山のキャンパスは、学習に最適な心落ち着く空間です。専門機材が揃う施設が「なぜ？」
「知りたい！」という好奇心を刺激し、探究心を育む環境で生徒の可能性を大きく広げます。



- | | | |
|-----------------------|-----------|--------------|
| 1 Core Lab(コアラボ) | 6 購買部 | 11 武揚会館 |
| 2 Core Lounge(コアラウンジ) | 7 美術館 | 12 ハンドボールコート |
| 3 図書室 | 8 自習室 | |
| 4 第一体育館 | 9 第二体育館 | |
| 5 グラウンド | 10 テニスコート | |



Uniform

組み合わせは100通り以上。
毎日を、自分らしくデザインする。

さわやかな水色が印象的な制服に、女子のスラックスやネクタイ、3色から選べるニットベストが加わりました。
100通り以上の組み合わせから、自分らしいスタイルを選び、毎日の学校生活を彩ります。





東京農業大学第三高等学校
附属中学校 校長
神山 達人

Message

人を幸せにするために学ぶ！

豊かな自然環境の中で、生徒たちは、元気に明るくのびのびと学園生活を満喫しています。「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』の育成を目指す」—この教育方針実践に向けて、農大三中は教育改革に取り組んでいます。「グローバル教育」「実学教育」「学内完結型教育」が改革の3本柱です。

外国人留学生との交流会・語学研修など英語力を高め、異文化理解を深める豊富なメニュー。ダイズ栽培から味噌作り体験、魚（ヒラメ）の養殖研究、北海道修学旅行での新巻鮭づくり体験など、「本物を見て触れて考える」というさまざまな体験型学習の機会。論理的思考力を高めていく場として、「論理の授業」も実施。大学現役合格にむけ、自学習支援システム（EdOM）を導入するなど実践内容は多岐にわたります。

それぞれの教育活動の中で、生徒たちは、分析や仲間との話し合い、スライド資料の作成、プレゼン専用の新施設「Core Lab」を活用した発表会等、自らの取り組みをデザインしていきます。結果として、授業では経験できない、文系・理系などの枠組みを超えた、文理融合の教育（STEAM教育）を展開していきます。その目指すところは、自分のために学ぶことが、実は他者のために学ぶことにつながり、人を幸せにするという、社会貢献につながる学びの基盤づくりです。

「中高連携プログラム」「中大連携プログラム」「AI教育講演会」など、未来を見据えた新たな教育活動にも触れながら、一人ひとりの生徒に向き合い、寄り添う教師陣のもとで6年間を積み重ねていきます。「なるほど!」と心を動かす授業を通して、「まず、やってみよう!」という主体的な学びの姿勢を構築し、「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』」に皆さんを育てます。

実学をもって人を育み、実りを世界に還す。 それが農大精神を受け継ぐ、農大三中の使命。

不屈の精神で幕末から維新を駆け抜けた「榎本武揚」が設立し、明治農学の第一人者「横井時敬」が建学の理念を確立した東京農業大学。農大スピリットといわれるその教育精神は、実学教育の名のもと、農大三中の理念として深く息づいています。

校 訓

不屈 探究 信頼

Indomitability

Inquiry

Reliability

教育方針

地域社会に貢献し、国際社会で活躍する
「21世紀を担う国際人」の育成を目指す



江戸幕府初の海外留学生としてオランダに渡り、洋式海軍技術・農業など最先端の学問を修得。幕末から維新を駆け抜け、明治政府で要職を歴任し、「樺太・千島交換条約」の締結にも尽力。理論と実践を重んじる“実学主義”を掲げ、現在の東京農業大学の前身・私立育英農科を創設。

東京農業大学創設者 榎本 武揚 先生

「稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け」など、実学を重視した多数の言葉を残す明治農学の第一人者。榎本武揚に招聘され評議員として参画。1907年に大日本農会附属私立東京高等農学校の校長を経て、1911年、東京農業大学初代学長に就任。

東京農業大学初代学長 横井 時敬 博士



受験生・保護者対象説明会の詳細はこちらからアクセス！

※ご来校時は、上履き・スリッパ等をご持参ください。

※本校開催のみ当日はスクールバスが運行されます。バスダイヤは日程が近づきましたらホームページ等でご確認ください。

車でのご来校はご遠慮ください。



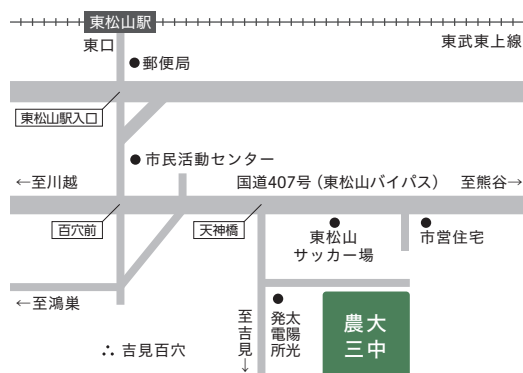
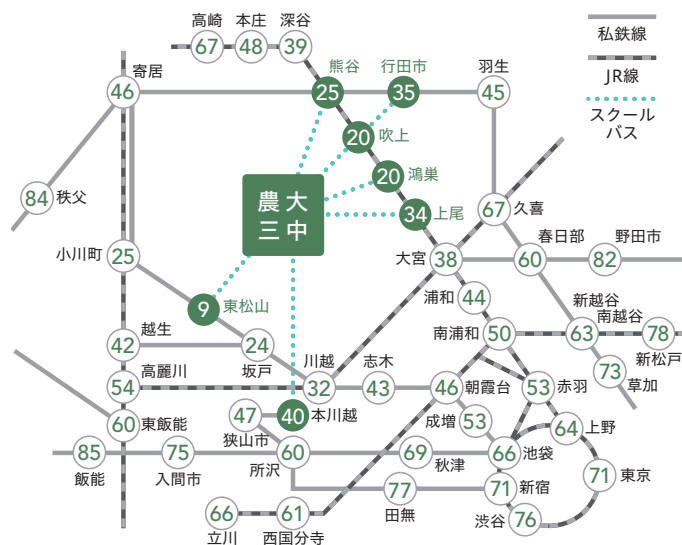
通学範囲・交通アクセス

スクールバス発着駅

- 本川越駅 ●東松山駅 ●上尾駅
- 鴻巣駅 ●吹上駅 ●熊谷駅
- 行田市駅

※1. 数字は、駅から学校までの所要時間
を表示しており、乗り換え、待ち合
わせ時間は含まれておりません。

※2. 上尾駅34分は、鴻巣駅経由の所要
時間であり、上尾駅直通的スクール
バスを利用した場合、学校までの所
要時間は約50分となります。



先輩たちの通学範囲と在籍者数

さいたま市	19	朝霞市	4	吉見町	2
川越市	18	鶴ヶ島市	3	狭山市	1
東松山市	15	新座市	3	北本市	1
鴻巣市	14	和光市	3	三芳町	1
熊谷市	12	川口市	3	川島町	1
坂戸市	6	蓮田市	3	宮代町	1
桶川市	6	小川町	3	東京都	30
深谷市	5	所沢市	2	千葉県	1
行田市	5	志木市	2		
ふじみ野市	4	本庄市	2		
富士見市	4	日高市	2		
上尾市	4	久喜市	2		
				合計	182人



東京農業大学第三高等学校附属中学校

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山1400-1
TEL.0493-24-4611 <https://www.nodai-3-h.ed.jp>



学校HP



農大三中・三高 公式LINE